

ウォーキングだより NO. 227

2024. 6 月

発行：スポーツ連盟三重 ウォーキングクラブ 発行責任者：井岡大義

○6月の例会報告

◇4日(火) 白米城

【参加者】和泉、一木、伊藤(孝)、井岡(智)、井岡(大)、岡田、川北、北川、竹上、豊田、西村、濱口(和)、濱口(安)、藤崎、別所、松田、米倉(ク)、米倉(哲) 外) 生野公子 計 19 名

快晴の青空、適度に吹く爽やかな風、日差しを遮る木陰の山道…、絶好のウォーキング日和に白米城散策をしました。

白米城とは通称で、阿坂城跡の南郭の名称です。阿坂城は、東西約 150m、南北約 300m の城域をもち、北郭（椎ノ木城）及び、南郭（白米城）の郭により構成され、北畠氏の本拠地である津市美杉町多気と伊勢平野を結ぶ主要ルート的重要拠点に築かれた山城です。江戸時代初めに成立した「南方紀伝」では、応永 22 年（1415 年）に北畠満雅が幕府軍を迎え撃った際、水を絶たれた北畠軍が馬の背に白米を流して幕府軍を欺き撃退したことから、南郭は白米城と呼ばれているとのこと。

10 時に浄眼寺駐車場に集合。プラチナ組 4 名は山に登らずベルファームへ直行し、15 名は 10:05 分登山開始。阿坂山（榊形山）は低いとはいえ（標高 312m）山は山でちょっと急な登りもあります。椎の木城を経由して 11:00 白米城に到着。360 度の眺望に歓声が上がります。あまりの絶景に早すぎました



がここで昼食をとることにしました。吹く風も心地よく最高の昼食タイムでした。食後、「山の辺の道」という名の急階段を下り 12:30 高城跡へ。期待した途中の笹百合は残念ながら遅すぎたようです。12:50 浄眼寺に無事帰着し、そのまま帰路につきました。約 6 キロのハイキングでした。（井岡大義）

◇9日(日) 大和郡山市城下ウォーキング

【参加者】石川、伊藤(孝)、岡田、奥山、川北、木村、西村、濱口(和)、溝口(安)、米倉
外)松田 計11名

【コース】近鉄郡山駅～郡山城跡～永慶寺～大納言塚(豊臣秀長)～郡山金魚資料館
～源九郎稻荷神社～薬園八幡神社～外堀緑地～箱本館「紺屋」～こちく屋～春岳院～近鉄郡山駅

雨模様の中、雨もいとわぬ覚悟を決めた11人で郡山城下を歩き回りました。幸いにも本格的な降りにならずたまに傘をさす程度で済みました。

前々日から、大和郡山の天気予報を表示するスマホの画面とにらめっこしながら、一喜一憂し、当日の小雨予報に賭け、決行することを決断。参加予定者も行こか行くまいか迷ったらしく、前日及び当日に参加辞退者が続出、結局、21人参加予定が当日は11人に減少。気を取り直して集合場所の近鉄郡山駅へ向かう。途中八木駅で数名が昼食用柿の葉寿司購入、郡山駅で車組と合流し、小雨降る中、10:00傘をさしてウォーキングに出発。本日のメインである郡山城跡に到着、伊賀上野城に匹敵する高い石垣に囲まれた城跡最高部の天守台に登ると、奈良の盆地が360度見晴らせ、時の支配者が当地を重視したことがよく分かる。豊臣秀吉の弟、秀長が入封後、城の大改修を行い(上野城を築いた藤堂高虎も関与)、その際、石垣を組むため羅生門の礎石、墓石まで運び込ませていた。その中には石仏まで徴発され、天守台石垣に逆さに埋め込まれた地蔵が確認できた。その一方、城下はおおいに商業地として栄えた。その後、柳沢吉保の息子、吉里が甲州から入部する際持ち込んだ金魚が特産品となった。

城跡から5分ほど歩き、次に訪れたのは、柳沢家の菩提寺永慶寺、郡山城の南門を移築した山門が有名、境内は盛りを過ぎたクチナシが咲き誇り甘い香りが漂っていました。ここから15分ほど歩き秀長の



の墓所大納言塚に着く、参拝すると頭が良くなるとのこと。さらに15分ほど歩くと金魚池が現れ、その中に金魚資料館がある。見学無料なので中を見学させてもらい数種類の生きた金魚の展示を見る。

金魚池の中を通り抜け、近鉄京都線を渡り、城下町屋の中を歩き郡山八幡神社前を曲がり、柳町商店街を通り、家来に化けて源義経を助けた白狐を祭る源九郎稻荷神社に参

拝休憩する。

広い道路を横切り、薬園八幡神社を巡り、城跡の外堀を利用した外堀緑地を見る。2011年のウォー

キングでは、当緑地を歩いたようだが、今回はここで引き返し、来た道に戻り昼食場所である箱本館「紺屋」を目指す。途中、源九郎餅本舗に立ち寄り土産物を買う、昼食前であることから数名は早速かぶりつく。

藍染の体験及び資料展示をしている紺屋に到着、昼食とする。昼食後は、金魚すくい（希望なし）ができる「こちくや」の前を通り、和菓子の老舗本家菊屋に立ち寄り土産物購入、秀長の菩提寺春岳院を巡り近鉄郡山駅近くの駐車場へ到着、ここで解散とし車組と別れ駅へ向かう。駅到着 13：40。

時折小雨降る程度で、暑くもなく無事行程を終え、みな様ご協力ありがとうございました。

（濱口安光）

■県連総会

6月16日(日)津市河芸公民館で**新日本スポーツ連盟三重県連盟**の第52回定期総会が開催されました。2023年度活動・決算の報告がされ、2024年度活動方針・予算が決定しました。ウォーキングクラブからは役員として上野、木村、清水、濱口(安)、代議員として井岡(大)、新田、濱口(和)、林の8名が参加しました。

2024年度の活動方針として

1. スポーツ活動を充実させ、多様なスポーツ要求に応える。2. 会員を増やす3. 反核平和の取り組み4. 「スポーツのひろば」をもっと普及させる。5. 県連盟の活性化を図る。6. 出前大会の種目拡大7. 新たな種目拡大の活動方針、運営方法確立させる。8. 種目リーダー不足の為、具体的施策を実施する。9. 連盟組織の各種目活動継続困難の打開の為に、中心的リーダー育成に取り組む。以上が決定されました

最後にスポーツ連盟三重のハイキングクラブ山好会、三重ウォーキングクラブ、三重県各スキークラブ、三重県連盟卓球協議会、三重県野球協議会の「種目クラブの紹介」で閉会しました。

◇22日(土) 名古屋平和公園及び東山動植物園

【参加者】飯田、和泉、伊藤(ま)、稲富、井岡(智)、井岡(大)、岡田、川北、木村、清水、竹上、西村、
抜田、濱口(和)、濱口(安)、春木、別所、丸林 外) 寺岡 計19名

【コース】東山公園駅—平和公園猫ヶ洞池—さくら苑—東山緑地—東山動植物園

当日の年後は雨との予報の中、19人で名古屋市内でありながら緑豊かな平和公園、東山動植物園を歩き回りました。幸いにもウォーキング中は本格的な雨降りにならずに済み、少し暑い程度でした。

前々日から、名古屋市内の天気予報を表示するスマホの画面とにらめっこしながら、一喜一憂し、前日の雨に一度は中止を考えながら、夕方からの梅雨の晴れ間に賭け、決行することを決断。

当日は、東山公園駅に集合し、10:00ウォーキングに出発、木陰の続く歩道を歩き本日の最初の目的地である猫ヶ洞池（ねこがほらいけ）に到着、当池は名古屋市内を流れる山崎川の源流の一



つ。早速ここで恒例の別嬪さん撮影（なんと先生のカメラが動かないハプニング）。今来た方向に引き返しさくら苑の中を通り抜け（下見の時は桜満開でかなりの見ものでした）、本日の唯一の林間トレイルコースに挑む。露出肌を覆い、最近話題のマダニ除けにスプレーを噴射し準備整え藪の中へと進む。コースは比較的良好整備され、思った以上に歩きやすく、又、涼しく、木々の間を通り抜けるコースで、名古屋市内にもかかわらず快適爽やかなウォーキングを堪能できました。

山を下り、朝来た道を引き返し、東山動植物園へ到着、入園料 500 円を払い入場。ちょうど 12:00 となっていたので、入場口広場の日陰パラソルの下で昼食とする。

昼食後、次の目的地である植物園へと向かう、植物園温室前で本日予定行程を終え解散とする。各自それぞれの好みに合わせ、各ゾーンに散らばる。自分たちはあじさい園、合掌造り民家前を巡り、付近を歩く人に聞くと、ここからでは星が丘出口が近いとのことで出口へと向かう。14:10 退園。地下鉄星が丘駅まで歩き帰途に着く。

雨にも降られず、さほど暑くもなく無事行事を終え、みな様ご協力ありがとうございました。

(濱口安光)

○7月の例会 集合場所・時間

◇2日(火) 波瀬 泰雲寺

集合場所・時間：10:00 波瀬道の駅(飯高) 要弁当

車の乗り合わせで行きます。泰雲寺の八角の鐘楼や青モミジが見どころですが残念ながら植物園は休みです。約6キロで歩きたい人にはもの足りないかも？波瀬道の駅前の虹の泉も見ものです。

◇7日(日) 安城(田園の古墳群)

集合場所・時間：8:50 名鉄名古屋駅4番ホーム 弁当不要

8:52 吉良吉田行きに乗り、新城で乗り換え堀内公園駅へ向かいます。帰りは桜井駅から帰ります。二子古墳を中心とする桜井古墳群を歩きます。古墳時代だけでなく、縄文晩期の貝塚や弥生時代の遺跡もあり、古代史に興味ある人には垂涎のコースです。ほとんど平坦な約7キロでプラチナ組も可能です。酷暑の折、昼食はサガミでサガミセット(1390円)を摂りますので弁当不要です。小雨決行！

◇15日(月・休) 宇賀溪⇒観音岳

集合場所・時間：10:00 松阪森林公園 要弁当

下見の結果、宇賀溪は危険ということで、4月に雨で中止となった観音岳に変更します。7年ぶりに伊勢湾方面から知多半島までの眺望を楽しみましょう。車の乗り合わせで行きます。ベルファーム等、行く場所もあるのでプラチナ組可能です。

◇27日(土) 烏丸半島(滋賀)

集合場所・時間：8:03 亀山発、8:10 関発のJRで草津へ

烏丸半島は琵琶湖に突き出す半島で、一帯には琵琶湖の原風景といわれるヨシ原が広がります。草津駅からバスで琵琶湖博物館に向かい、琵琶湖博物館で琵琶湖の自然・歴史をじっくり学びます。水性植物園も覗き、北大萱バス停まで歩きバスで草津駅へ戻ります。昼食は弁当を持っていくもよし、琵琶湖博物館のレストランに入るもよし、自由にします。ここもプラチナ可です。

次回運営委員会

7月 23日 (火) (p.m.3時)

河芸井岡宅

